※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家基 707　「図説家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教室での授業では、プリント学習を通して、衣食住や消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識を身につけます。
・実習授業では、教室での学習で得られた知識を日常生活で実践するための技能を身につけます。
・授業プリントの評価については、板書を書き写すだけでは、加点の対象になりません。授業の重要ポイントや自身で気づいたこと､クラスメイトの発言した内容などをプリントの｢メモスペース｣や余白に記入していきましょう。
・授業プリントの中には、ワークシートやレポート課題となるものもあります。
・理想の自分の将来像を思い描きながら、意欲的に授業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭や社会との関わり、衣食住や消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。
・生涯を見通して、実生活の中から生活課題を見出すことができる。また、見出した生活課題の解決方法を構想して実践し、改善することを表現できる。
・日常生活における生活課題の主体的な解決に向けて、生活の充実向上をはかる力や実践的な態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭や社会とのかかわり、衣食住や消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識・技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域社会、近年の生活環境の急激な変遷などの、実際の生活の中から生活課題を見いだすことができる。 また、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現するなどして、生活課題を解決する力を身につけている。	日常生活における様々な生活課題の解決に向けて、自らの生活を振り返り、評価・改善しようとしている。 他者の意見に耳を傾けながら、自らの将来像を思い描こうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　自分らしい生き方と家族	現代の家族・家庭にまつわる生活課題について学ぶ。自らのライフコースを振り返り、今後のライフステージを計画する。	a:現代の家族・家庭にまつわる生活課題について理解できている。 b:今後の自らの人生を、具体的に計画することができる。 c:自らのライフコースを振り返り、生活課題を見いだそうとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察
	第2章　子どもとかかわる	乳幼児の身体的・精神的な発達について学習する。学習内容を通じて、親になることについて、深く考える。	a:乳幼児の身体的・精神的な発達について理解できている。 b:乳幼児の事故防止のために実践可能なことを具体的に挙げられる。 ロールプレイングを通じて、大人から子どもへの適切な言葉かけを考えることができる。 c:自らが社会の中の１人の「親」となることを自覚し、子どもとの関わり方について深く考えようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察
	第3章　高齢者とかかわる 第4章　社会とかかわる	高齢者の心身の変化や介護について学び、より良い老後を過ごすために必要なことは何か、深く考える。また、社会保障制度や公的年金制度についても学習する。	a:高齢者の心身の変化や正しい介護方法、社会保障制度について理解できている。 高齢者介助についての技術を身につけている。 b:より良い老後を過ごすために、高校生のうちからできることは何か、具体的に考えることができる。 c:誰もがやがて「高齢者」になることを自覚し、人生 100 年時代を想定して自らの将来を考えようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	第９章　消費行動を考える	18 歳成人における消費者の権利と責任・契約について学ぶ。多様化する販売方法や問題商法に対応する力を身につける。また、持続可能な社会の構築のために自らが実践できることがらについて考える。	a：消費者のための制度や法律、契約について、理解している。 問題商法に気づき、自ら断る力を身につけている。 b：持続可能な社会の構築に向けての具体的な消費行動について、考えることができる。 c：主体的な消費行動をすべく、生活情報の収集や活用をしようとしている。「なんとなく」「他者に勧められて」ではなく、自らの意思で商品の選択をしようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント ロールプレイ	授業プリント ロールプレイ 観察
	第６章　衣生活をつくる	衣服素材の性能や家庭での手入れ方法を学び、日常生活において衣服を適切に選択・管理できるようにする。	a：衣服素材の性能や家庭での正しい手入れ方法を理解している。 被服製作実習にて、手縫いの基礎技術を身につけている。 b：取扱い表示を読み取り、正しい洗濯方法を考えることができる。 c：自らの得意・不得意を発見し、技術向上に向けて積極的に実習に取り組むことができる。	定期考査 実習の成果物	定期考査 授業プリント 実習の成果物	授業プリント 実習の成果物 観察
	第７章　住生活をつくる	人と住まいとのかかわり・住空間のなりたちについて学び、災害を含む安全や健康に配慮した生活の送り方について考える。	a：住生活分野についての基礎的な知識について理解している。 災害食の調理技術を身につけている。 b：健康で安全・快適な住環境にするために必要なことは何か、具体的に考えることができる。 c：安全や健康に配慮した生活の送り方について、主体的に考え、家庭で実践しようとしている。	定期考査 実習の成果物	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	第５章　食生活をつくる	栄養・食品・調理についての基礎・基本を科学的に理解する。また、食文化についても触れ、充実した食生活を行えるようにする。実習を通じて調理技術の習得をめざす。	a：食生活分野についての基本的な知識について理解している。 準備から片づけまでの、基礎的な調理技術を身につけている。 b：食品群別摂取量のめやすを踏まえて、具体的な献立作成ができる。 健康的な食文化である「和食」の継承のために必要なことがらを、考えることができる。 c：自らの普段の食事を振り返り、健康的な食生活について深く考えようとしている。 安全面・衛生面に配慮しながら、グループで協働して調理実習に取り組むことができる。	定期考査 実習の成果物	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察
	第８章　経済的に自立する	日々の収入・支出を把握し、社会と家計の変化を踏まえて、長期的な経済計画や家計管理について考える。	a 現代の家計の特徴について、理解している。 b：自らの将来を踏まえ、生涯を見通した経済計画ができる。 c：今後の人生や家計管理について、主体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	授業プリント 観察

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度